

中・県西地域
専門学科
（平塚農業高校・平塚商業高校）
設置計画

平成31年3月
神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 平塚農業高等学校 平塚商業高等学校
- (2) 位置 平塚農業高等学校敷地（平塚市達上ヶ丘10-10）
- (3) 実施年度 平成32年度

2 設置の目的

- これまで両校が取り組んできた産業教育の成果を踏まえ、農業に関する学科と商業に関する学科を併置する新たな専門学科高校として設置する。
- 新校においては、農業、商業の各分野におけるスペシャリストの育成を図るとともに、それぞれの産業分野を相互に学ぶなど、新たに、これからの社会に求められる国際化、6次産業化などに対応した教育展開により、多様な地域産業を担う人材の育成を図る。

3 基本的コンセプト

- 学年制による全日制専門学科の県立高校としての教育の展開
農業科4学科（都市農業、都市環境、食品科学、農業総合）、商業科1学科4系（経営ビジネス、情報ビジネス、情報デザイン、グローバルビジネス）において、それぞれ特色ある教育活動を展開する。また、学科併置の特色をいかした学校設定科目を両学科の生徒が履修する。
- 学科の特色をいかした教育活動の展開（スペシャリストの育成）
それぞれの学科の特性をいかした教育課程を編成するとともに、選択科目の設置により、個々の進路希望や興味・関心に応じた教育活動を展開する。
- 農業科としての学習の取組みと教育の展開
農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識・技術から先端の経営ノウハウの習得まで、農業の次代を担うスペシャリストの育成をめざす。
- 都市農業科の学科目標
都市住民や市場の需要に即して食料を生産・供給できる都市農業の利点をいかし、新鮮かつ安全・安心な農産物の栽培に関する知識・技術を身に付け、GAP（農業生産工程管理）を理解する。また、都市農地という限られた面積の農地における高効率、経済的持続可能な栽培方法について学ぶとともに、都市部における新たな農業ビジネスモデルの構築を推進することができる人材の育成をめざす。
- 都市環境科の学科目標
農業の持つ多面的機能に対する社会的評価の高まりを踏まえ、都市住民にとって重要な緑や癒しの空間の提供など、生活環境の改善や質の向上をめざし、草花を中心と

した園芸や造園などの学びを通じて良好な生活環境の確保や創造ができる知識・技術を身に付ける。また、都市住民へのゆとりや潤いの提供など、多面的機能を発揮し、豊かな都市生活の実現といった生活スタイルの実現に寄与することができる人材の育成をめざす。

○ 食品科学科の学科目標

都市住民や市場の需要に即して新鮮で高品質な食材を提供できる都市農業の利点をいかし、安全・安心な食品（穀類、果実、畜産物加工品など）の製造に関する知識・技術を身に付け、H A C C P（危害要因分析重要管理点）を理解した人材の育成をめざす。

○ 農業総合科の学科目標

生産者、企業、消費者と近い生活環境の利点をいかした学習活動により、作物栽培、製造、衛生、流通に関して農業を総合的に学び、農業に関する知識・技術を身に付ける。また、食育や食料・食品と農業を結びつける活動や、「食」と「農」に関する新たな市場の創出など、都市農業ならではの農業の産業化を推進していく人材の育成をめざす。

○ 商業科（総合ビジネス科）としての学習の取組みと教育の展開

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識・技術の習得から経済社会の発展を図る創造的な能力の定着まで、様々な産業で活躍できるスペシャリストの育成をめざす。

○ 学科併置の特色等をいかした教育活動の展開（多様な地域産業を担う人材の育成）

それぞれの大学科の相互的な連携、地域協働や産学官連携といった様々な連携・協働の取組みを通じて、国際化、6次産業化への対応といった視点から教育活動を展開し、多様な地域産業を担う人材の育成をめざす。

4 設置形態

- | | |
|----------|--|
| (1) 課 程 | 全日制の課程 |
| (2) 学 科 | 都市農業科（農業に関する学科）
都市環境科（農業に関する学科）
食品科学科（農業に関する学科）
農業総合科（農業に関する学科）
総合ビジネス科（商業に関する学科） |
| (3) 学校規模 | 全日制の課程 960名程度（24学級規模程度）
都市農業科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度）
都市環境科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度）
食品科学科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度）
農業総合科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度）
総合ビジネス科 480名程度
（各学年160名程度 4学級規模程度） |

※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定

- (4) 修業年限 3年
 (5) 学 期 3学期制
 (6) 履修形態 学科ごとの科目履修及び選択科目の科目履修
 (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定
 <日課表> (予定)

	(月) ~ (金)
朝 学 習	8 : 4 0 ~ 8 : 5 0
ショートホームルーム	8 : 5 0 ~ 8 : 5 5
1 校 時	9 : 0 0 ~ 9 : 5 0
2 校 時	1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 5 0
3 校 時	1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 5 0
4 校 時	1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 5 0
昼 休 み	1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 3 5
5 校 時	1 3 : 3 5 ~ 1 4 : 2 5
6 校 時	1 4 : 3 5 ~ 1 5 : 2 5
清 掃	1 5 : 2 5 ~ 1 5 : 3 5
ショートホームルーム	1 5 : 3 5 ~ 1 5 : 4 0

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
 (2) 選抜の区分 共通選抜
 (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針
 ○ 高等学校在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
 ○ 専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。
- (2) 教育展開の方針
 ○ 各学科において、基礎的な科目から発展的な科目を設置し、系統的な専門教育の展開を図る。
 ○ 農業科においては、神奈川県最先端の農業技術を教育活動に取り入れるために、農業技術センター等との連携を図る。

- 商業科においては、会計分野等のスペシャリストを養成するために、大学等との連携を図る。
- 学科併置の特色をいかした学習の充実と地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。

(3) 編成の方針

- 共通履修科目及び学科専門科目で構成する。
- 一人ひとりの進路希望や興味・関心等に応じて設定した課題について、知識や技能の深化、総合化を図る課題研究等を設定する。
- 県立高校生学習活動コンソーシアムの活用など、学校外での学修の成果による単位認定を行う。
- 学科併置の特色をいかして、生徒交流などを図るうえでクラス編成について工夫する。
- 集中講座など、柔軟な履修形態による学習活動を展開する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 農業に関する学科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
農業に関する学科	1 学 年	都市農業科	国語総合 ③			現代社会 ②			数学Ⅰ ③			生物基礎 ②		体育 ②		保健 ①	音楽Ⅰ ／美術Ⅰ ／書道Ⅰ ②	コミュニケーション 英語Ⅰ ③	農業と環境 ③		総合実習 ④			野菜 ②		アグリ・ ビジネス ②	L H R ①				
		都市環境科																	農業と環境 ③		総合実習 ④			草花 ②							
		食品科学科																	農業と環境 ③		農業情報処理 ②	食品製造 ②		食品化学 ②							
		農業総合科																	農業と環境 ③		農業情報処理 ②	食品製造 ②		食品化学 ②							
	2 学 年	都市農業科	現代文 B ②	世界史 A ②	数学Ⅱ ③			化学基礎 ②		体育 ②		保健 ①	コミュニケーション 英語Ⅱ ③		家庭総合 ②	総合実習 ④		農業情報処理 ②		農業経営 ②		果樹 ②		総合 選択 ②	L H R ①						
		都市環境科						総合実習 ④								農業情報処理 ②		生物活用 ②		環境科学 ②											
		食品科学科						総合実習 ②	食品製造 ④							食品化学 ②		微生物利用 ②													
		農業総合科						総合実習 ②	農業情報処理 ②							食品製造 ②	微生物利用 ②		グリーン ライフ ②												
	3 学 年	都市農業科	現代文B ③			日本史 A ②		地学基礎 ②		体育 ③		コミュニケーション 英語Ⅲ ④			家庭総合 ②	課題研究 ③		総合実習 ③		農業情報処理 ①	総合 選択 ②	選択科目 (4単位まで選択)			L H R ①						
		都市環境科														課題研究 ③		総合実習 ③		農業情報処理 ①											
		食品科学科														課題研究 ③		食品製造 ②		微生物利用 ②											
		農業総合科														課題研究 ③		食品流通 ②		子どもの発達と保育 ／フード デザイン ②											

○ 2 年総合選択 (2 単位)

	各学科の専門科目	普通科目／他学科の専門科目
都市農業科	デュアルシステム②／植物バイオテクノロジー② グリーンライフ②	数学A②／物理基礎②／生物②／英語会話②／ビジネス基礎② 経済活動と法②
都市環境科	デュアルシステム②／造園計画②／農業機械②	数学A②／物理基礎②／生物②／英語会話②／ビジネス基礎② 経済活動と法②
食品科学科	デュアルシステム②／食生活②	数学A②／物理基礎②／化学②／英語会話②／ビジネス基礎② 経済活動と法②／情報処理応用②
農業総合科	デュアルシステム②／農業経営②	数学A②／物理基礎②／化学②／英語会話②／ビジネス基礎② 経済活動と法②／情報処理応用②

○ 3 年総合選択 (2 単位)

	各学科の専門科目	普通科目／他学科の専門科目
都市農業科	作物②／農業機械②／生物活用②／	数学B②／物理基礎②／生物②／草花②／食品製造② ビジネス基礎②／経済活動と法②／原価計算②／情報処理応用②
都市環境科	グリーンライフ②／園芸デザイン②	数学B②／物理基礎②／生物②／野菜②／食品製造② ビジネス基礎②／経済活動と法②／原価計算②／情報処理応用②
食品科学科	食品流通②	数学B②／物理基礎②／化学②／野菜②／果樹②／作物②／ ビジネス基礎②／経済活動と法②／原価計算②／情報処理応用②
農業総合科	食料と農業②	数学B②／物理基礎②／化学②／野菜②／草花②／ビジネス基礎②／ 経済活動と法②／原価計算②／情報処理応用②

○ 3 年選択科目 (4 単位まで)

国語表現②／古典A②／日本史研究②／世界史研究②／地理A②／政治・経済②／数学A②／数学探究②／物理④／化学④／生物④ スポーツ総合演習②／音楽Ⅱ②／美術Ⅱ②／書道Ⅱ②／英語会話②／英語表現Ⅰ②／子どもの発達と保育②／フードデザイン②／食品流通②
--

○ 商業に関する学科

		123456789101112131415161718192021222324252627282930																													
商業に関する学科	総合ビジネス科	1 学 年	国語 総合 ③		現代 社会 ②		数学Ⅰ ③		科学と 人間 生活 ②		体育 ②		保健 ①	音楽Ⅰ ／美術 Ⅰ ／書道 Ⅰ ②	コミュニケーション 英語Ⅰ ③		ビジネス 基礎 ②		簿記 ④				情報 処理 ③		アプリ・ ビジネス ②		L H R ①				
		2 学 年	経営 ビジネス系	現代文 B ②	世界史 A ②	数学Ⅱ ③	化学 基礎 ／生物 基礎 ②	体育 ②	保健 ①	コミュニケーション 英語Ⅱ ③	家庭 総合 ②	課題 研究 ①	財務 会計Ⅰ ③		原価 計算 ③		マーケティング ／電子 商取引 ③		マーケティング ／原価 計算 ③	総合 選択 ②	L H R ①										
			情報 ビジネス系										ビジネス 情報 ③		プロگرام ③																
			情報 デザイン系										商品 開発 ③		電子 商取引 ③																
			グローバル ビジネス系										マーケティング ③		商品 開発 ③		原価計算 ／電子 商取引 ③														
3 学 年	経営 ビジネス系	現代文B ③	日本史 A ②	体育 ③	コミュニケーション 英語Ⅲ ④	家庭 総合 ②	課題 研究 ③	財務 会計Ⅱ ③		管理 会計 ③		総合 選択 ②	選択科目 (4単位まで選択)	L H R ①																	
	情報 ビジネス系							プロگرام ③		ビジネス 情報 管理 ③																					
	情報 デザイン系							広告と 販売 促進 ③		電子 商取引 ③																					
	グローバル ビジネス系							ビジネス 実務 ③		広告と 販売 促進 ③																					

○ 2 年総合選択 (2 単位)

	各学科の専門科目	普通科目／他学科の専門科目
総合ビジネス系	経済活動と法②／ビジネス経済②	数学A②／物理基礎②／化学基礎②／生物基礎②／英語会話② 農業と環境②
情報ビジネス系		
情報デザイン系		
グローバルビジネス系		

○ 3 年総合選択 (2 単位)

	各学科の専門科目	普通科目／他学科の専門科目
総合ビジネス系	経済活動と法②／ビジネス経済② ビジネス情報②	数学B②／物理基礎②／草花②／野菜②／食品製造②
情報ビジネス系	経済活動と法②／ビジネス経済② 財務会計Ⅰ②	
情報デザイン系	経済活動と法②／ビジネス経済② 財務会計Ⅰ②／ビジネス情報②	
グローバルビジネス系	経済活動と法②／ビジネス経済② 財務会計Ⅰ②／ビジネス情報②	

○ 3 年選択科目 (4 単位まで)

国語表現②／古典A②／日本史研究②／世界史研究②／地理A②／政治・経済②／数学A②／数学探究②／物理④／化学④／生物④ スポーツ総合演習②／音楽Ⅱ②／美術Ⅱ②／書道Ⅱ②／英語会話②／英語表現Ⅰ②／子どもの発達と保育②／フードデザイン②／食品流通② 総合実践② (総合ビジネス科のみ選択可能)

(○囲いの数字は単位数)

※ 教育課程表は予定であり、変更することがある。

学科併置の特色をいかした専門科目について

農業に関する学科（都市農業科・都市環境科・食品科学科・農業総合科）と商業に関する学科（総合ビジネス科）の併置の特色をいかした教育課程を編成し、学科相互の関連を図る学習を可能とするため、学科に共通する専門科目として以下の科目を設置する。

＜学科に共通する専門科目＞

アグリ・ビジネス

… 地域社会・地域産業を背景としたグローバルな視野で産業を捉え、農業及び商業の各専門分野を横断的に取り扱い、地域の歴史・文化、作物栽培、食品加工、調理、マーケティング、経営などの基礎を学ぶ。また、自己の将来を見据え、地域産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

（５）学習指導の工夫

- 知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させていく。
- 自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。
- 専門科目の展開では、実技・実習などの学習活動を充実させるとともに、少人数学習や各自の学習ニーズに応じた個別指導が実施できるよう配慮する。

（６）生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自己の自立をめざす。
- 生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 教師と生徒との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深める。
- 学科の特性をいかした地域連携活動や学校行事、部活動等を活性化させ、学校全体としての特色ある学校づくりを推進する。

（７）進路指導の工夫

- 生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や就労や進学に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の報告をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7 施設・設備の整備

- 両校の統合による専門学科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 農業科・商業科併置の専門学科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256